

薩摩川内市行政改革推進委員会 委嘱状交付式及び第1回委員会 会議録

- 1 開催日時 平成25年5月13日（月） 14：30～15：40
- 2 開催場所 薩摩川内市役所 604会議室
- 3 出席者
 - （1）委員 吉満会長、三本副会長、山本（豪）委員、梶原委員、徳丸委員、鍋倉委員、初田委員
 - （2）事務局 向原副市長、企画政策部長、行政改革推進課長、同課長代理、同課行政改革グループ員2名
 - （3）傍聴者 なし

4 委嘱状交付式

（1）向原副市長から各委員に委嘱状を交付

（2）市長あいさつ

○向原副市長 市長公務のため、代読する。

皆様方におかれては、委員就任をお引き受けいただき、感謝申し上げます。また、かねてから市政の発展のために、それぞれの分野で御支援、御協力いただいております。重ねて厚くお礼申し上げます。

本市は、平成16年10月12日に1市4町4村の合併により誕生してから、9年目を迎えている。

この間、社会情勢の変化に機敏に対応できる足腰の強い自治体を目指し、市民志向の市政改革に取り組むべく、市政改革大綱を策定して、市民の皆様からの御理解と御協力をいただきながら、改革を進めてきた。

行政改革推進委員会におきましては、これまで4期8年にわたって御審議いただいております。今期で5期目となる。

これまで、市政改革大綱策定に係る答申や各種提言（補助金のあり方や提案公募型補助金に関する提言、広報体制のあり方に関する提言、センター方式設置に係る提言）、合併の検証に係る審議など、市政改革に関連した多岐にわたるテーマについて、精力的に取り組んでいただいた。

第4期委員会においては、本市の事務事業について市民の立場から評価していただく「事務事業の外部評価」をお願いした。

第5期委員会においては、引き続き「事務事業の外部評価」をお願いするとともに、今期からは、昨年度まで補助金等評価委員会で評価していた補助金等についても本委員会で併せて御意見を頂戴することとした。

本市を取り巻く状況は、川内原子力発電所再稼働問題や富士通関連企業の事業撤退などの課題があり、地域経済の活性化、雇用対策において市民生活に甚大な影響を与えている。さらには、配布した資料にもあるが、平成27年度以降段階的に地方交付税が約40億円削減される見込みであり、行財政改革は待ったなしの状態にある。

本市としては、今後とも、市政のあり方について、限られた経営資源をもとに、様々な手法を駆使して、市民の皆様の御協力をいただきながら、市政改革に取り組んでいく必要があると考えている。

委員の皆様方からは、忌憚のない御意見を賜るようお願いする。

5 第1回委員会

(1) 委員の紹介

○課長代理 (会議資料に基づき、委員を紹介)

(2) 職員の紹介

○課長 (会議資料に基づき、職員を紹介)

(3) 会長及び副会長の選出

○課長 (規則に基づき、委員の互選により、会長及び副会長を各1名決めていただきたい旨の説明) まずは、会長への立候補または、ご推薦はないか。

○委員 吉満委員を推薦する。

○課長 吉満委員の他に意見がないので、吉満委員にお願いしたいがどうか。

○委員 異議なし。

○課長 それでは、吉満委員に会長をお願いする。副会長は、どうするか。

○会長 会長にご推挙いただいたので、私から推薦したい。三本委員にお願いしたいがどうか。

○委員 異議なし。

○課長 それでは、副会長は、三本委員にお願いする。繰り返しになるが、第5期委員会の会長は吉満祐市委員に、副会長は三本稔世委員に決定する。

○会長 ご推挙いただいた吉満です。

行政改革の方は初めてだが、他の会議には多少なりとも参加している。青年会議所理事長などを経験しており、その時々には、市長や部課長等に補助金をお願いする立場であったが、市の財布の中身を見て考える機会をいただいたので、情報発信していきたい。委員の皆様のご意見をいただきながら、進めて行きたいので、ご協力をお願いする。

○副会長 副会長にご推薦いただいたので、精一杯やらせていただく。

委員の中で唯一の女性なので、女性の目線で意見を述べたいと思う。会長の補佐の役目を果たしていきたいので、よろしくお願いします。

(4) 諮問

○副市長 (吉満会長に諮問書を交付)

○課長代理 ここで、副市長は公務のため退席する。ご了承願いたい。

(5) これまでの行政改革推進委員会の取組について

○課長代理 ここからの議長は、規則に基づき、会長をお願いする。

○会長 ここから、(議長として)進行を務める。

面識のある委員もいるが、委員という敬称を用いて名前を呼ばせていただく。

これまでの行政改革推進委員会の取組について、事務局の説明をお願いします。

○課長 （会議資料に基づき、説明）

○会長 これまで4期の活動について、ご説明いただいた。

色々な提言や答申など各年度でそれぞれあったみたいである。委員会のあり方も変化しているように思う。第4期においては、それまでの委員会に比べて開催回数が多いようだ。

ご質問のある方は、いないか。無いようなので、この報告は、以上とする。

（6）第5期行政改革推進委員会の内容及びスケジュールについて

○会長 事務局の説明をお願いします。

○課長 （会議資料及び参考資料1に基づき、説明）

○会長 説明いただいた内容を確認していく。

3頁は、事務事業や補助金等の評価の経緯について、説明いただいた。事務事業とは、一般的には「事業」のことである。10頁に用語集が付いており、行政用語の説明がある。事務事業についても掲載してある。

4頁は、上部に補助金に係る記載の続きが、次に事務事業と補助金の関係について、政策、施策、小施策といった流れで事務事業や補助金が構成されているということをご説明いただいた。実際の評価においては、参考資料1のような流れの説明を受けてから評価を進めていくことになる。

次に、年間の委員会スケジュールと今後の委員会が13:30から17:00までとなり、大事な時間を使って進められていくことの説明を受けた。

ご質問ないか。

長い会議になりそうであるが、評価するものの資料については、事前に配布されるということと、評価のチェック項目について、その都度リストがあるということである。評価方法は、分からないが、そういう流れで評価が進められる。

各委員の発言内容（評価）が、担当課に伝わるような経緯があるのか。

○課長 評価自体は、会の中で一本化する。誰がどのようなことを言ったかは分からない。いただいたご意見は、結果表の中に記載するが、委員名は出さない。

○会長 委員の発言は尊重するが、（誰がということではなく）会全体の意見として、取り扱われるということですね。

ご質問はないか。無いようなので、この件については以上とする。

（7）会議の公開・非公開について

○会長 事務局の説明をお願いします。

○課長 （会議資料に基づき、説明）

○会長 会議の公開・非公開については、皆様にお諮りする事項である。

条例の規定によると公開が原則であるということ。公開しないとした前期委員会の経緯については、注釈のとおりである。また、補助金等評価委員会については、全て公開しており、第5期委員会においては、補助金等の評価も本委員会で行うことから、事務局案としては、公開にしたいとのことである。

先程質問した際に、評価のまとめ方については、委員会ですべきということだったので、個別の（委員の発言による）利害関係には、差し支えないと考えるが、各

委員の意見はいかがか。

公開に支障があるような意見は無いか。

○委員 公開とした場合、どういう人がくるのか。

○部長 誰がくるかということであるが、補助金を受けている団体の方はどんな意見が出されるのか関心があると思われるので、傍聴に来る可能性がある。ただし、補助金等評価委員会は、公開していたが傍聴者なしである。

もう1点補足しますと、第4期委員会では、（外部評価が）スタートしたばかりで、（公開は）厳しいということで2年間非公開だった。ただし、議事録は、要点筆記の形で会議終了後、委員名を伏せて市のホームページで公開してきた。会議自体は、非公開であった。

○会長 部長から説明があった。

私が青年会議所に所属していた頃は、補助金が無くなるとのことで、会議に乗り込み、傍聴席を作るのに担当者を困らせたことがあったが、最近では補助金の担当課が努力をして、よく説明をしているので、傍聴者がいないのだろう。

委員の意見は、補助金主管課にとって貴重な情報であり、補助金をうまく運用していくヒントとなりうる。委員の意見は是非、記録していただきたい。

お諮りする。公開としてよろしいか。

○委員 はい。

○会長 公開という形で取り扱う。

報告・協議については、以上である。事務局に（進行を）返す。

（８）その他

○課長代理 吉満会長ありがとうございました。

会次第の「その他」ですが、委員の皆様から何かないか。

事務局から何かないか。

○課長 次回の日程について、連絡する。

次回の模擬については、6月5日（水）で連絡済である。13時30分から6階の601会議室で行う。3回目の日程については、お手元に日程調整の送信表が配布してあるので、候補日時のご都合を5月20日（月）までにご教示いただきたい。調整後、日時が決まったら、ご連絡する。

○部長 一言よろしいか。

就任いただき、長丁場の会議となるが、ご協力いただくことに感謝申し上げます。よろしく願いしたい。

1年当たり36の事務事業、60件前後の補助金を一体的に評価していただく。

皆様の貴重な意見をいただきながら、次年度の予算、事業の廃止や拡大に担当課と一緒に次のステップに繋げていきたい。

2年間外部評価を受けてくる中で、事務局・担当主管課ともに不慣れな部分もあり、委員からお叱りを受けることもあった。2年目は、簡潔に要点のみを説明するよう努めてきた。3年目となるので、更にステップアップをすべく、関係課にも声をかけていきたい。

今回は、外部評価をメインにしているが、お配りしている午さん会の資料のよう

に、行財政改革に係る情報で委員の皆様が欲しい情報があったら、遠慮なくお申し付けいただきたい。

○課長代理 長時間にわたり熱心にご協議いただいた。以上をもって、第 1 回行政改革推進委員会を終了する。